

～目次～

【1】TKK活動

【2】関連団体の活動

【3】行政等の活動

【4】新コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 —

— < >のカッコは、連続ものを指します—

【1】TKK活動

* *

<高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会>

2013年から開催している本講習会、今年度も5,9,12月の3回開催し、各回とも定員(250名)を上回るお申し込みを頂きました。
http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=158

例年通り全国各地からの参加がありましたが、2013年からの4年でほぼ全都道府県から参加を頂きました。

2017年度は5,11月の2回開催で、詳細は次から確認ください。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=173

<医療及び家族相談会>

2016年6月から2017年1月までの間に5回開催し、2017年3月が今年度の最終回となります。ご相談は各回とも先着順で1回に3組まで、1組につき1時間を目途として順次、ご相談に応じます。

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardCode=FB20_1198201667&boardAct=view&crtPage=2&readNum=162&replyNo=126

OTKK発足15周年・NPO法人設立10周年「記念講演会」

安心な未来をめざして!! 高次脳機能障害の啓発と支援

8月27日(日) 12:00～17:40 浜離宮朝日ホール(400人) 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階
参加費(資料代): 1人(または、当事者と付添いの方1人の1組) 1,000円

記念講演 [突然 妻が倒れたら]

～家族の視点から語る介護生活と社会の支え方～

講師: 松本 方哉(まつもと まさや)氏(フジテレビの解説委員・キャスター、国際ジャーナリスト)

～フジテレビ報道番組「ニュース JAPAN」で、滝川クリステル氏と共にキャスターとして活躍していた当時、奥様がクモ膜下出血で倒れました。重い高次脳機能障害を負われた奥様の介護やリハビリ・ご自身の仕事・ご自身の養育を通じて体験された医療・福祉・介護制度などの問題点を「家族の立場から」鋭く語っていただきます

◇詳細、お申し込み方法は、http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=174

【2】関連団体の活動

* *

●演劇鑑賞と相談会 主催:江戸川「つつじの会」12月4日(日) タワーホール船堀

内容:演劇集団「劇団ハードレインオープンカフェ」による演劇「個人面談」と「アクロス・ザ・ユニバース」。

==== 演劇開始から気持ちを掴まれました。特に「個人面談」は高次脳機能障害の当事者ご本人も出演されているということでしたが、どなたがその方か分からないほどの完成度の高さ。後から、そうは簡単には行かず何度も何度も練習をしたと聞きました。面談をしているという設定のシンプルな道具だけの舞台上で「いいのですか?」というセリフから突然始まり、「はい、いいです」「今度は行きます」「必ず行きます」「行きたいのです」と、人生の方向を志す人の絶望から希望へ向かおうとするセリフは、どこへ行くのか何をするのか分からない抽象的なセリフが続くのですが、それだからこそでしようか心にグイグイ来ました。短い時間でしたが、素晴らしい演劇を観ました。==== みなと高次脳代表 高井玲子

●ハイリハ東京 高次脳機能障害の若者の就労についての勉強会(第1回) 1月7日午後、江戸川区東部区民館

==== ハイリハ東京に加え、ハイリハジュニア・ハイリハチバの若者と家族が集まりました。既に就労をしている2名の先輩当事者の講演から始まり、千葉リハビリテーションセンター更生園 就労支援員 中島光喜氏の就労移行支援の立場からをテーマとした講演をしていただきました。その後、家族は先輩家族とこれから就労時に直面する問題について意見交換をしました。当事者グループも同じように自己紹介を通じ交流をしました。限られた時間での話し合いでしたが、就労をしている方、これからの方にも大変有意義な勉強会となりました。これからも定期的にこの勉強会を続けていく予定です。====ハイリハ東京代表 小澤京子

○<失語症なんでも相談室> 失語症をお持ちのご本人、ご家族が対象、場所:言語生活サポートセンター

相談日:今年度は2月4日が最終回、午前10時半、午後1時、午後3時(おひとり1時間半)

-日時は変更する場合がありますので、必ずHPでご確認をお願いします。費用:1回につき2000円(税別)

◇申し込み:フォーム、FAXで予約してください。詳しくは下記をクリックして下さい。

<http://www.gengoseikatsu.com/2016/04/05/>

◇問合せ: 株式会社言語生活サポートセンター失語症なんでも相談室

東京都杉並区荻窪5丁目16-14 カパビル1階 ☎ 03-6915-1877 FAX 03-6915-1878

○第31回ドリームサロン ~高次脳機能障がいを知ろう、語ろう、もっと身近に~ 主催:調布ドリーム

3月11日(土)13:00~16:30 会場:高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム

第一部「他の事業所の活動を知ろう」~すてっぷななでの活動の紹介~

講師 野々垣睦美氏(クラブハウスすてっぷなな施設長)

第二部 当事者と共に語り合おう!

◇申込み: TEL・FAX:042-444-3068 E-mail:info@chofudream.com

○講演会「高次脳機能障害、特に社会的行動障害について」 主催:江戸川つつじの会 3月12日(日) 13:30~15:30

船越タワー 研修室、講師:渡邊修氏

◇問い合わせ先・申し込み 江戸川高次脳機能障害江戸川つつじの会

〒132-0024 江戸川区一之江6-8-16 ☎03-3655-5580

-----∞
【3】行政等の活動

* *

-----∞
●「こころの健康だより」—高次脳機能障害特集

都立(総合)精神保健福祉センターで編集・発行している東京都のこころの健康に関する広報誌の No.117号(平成28年10月末日発行)で、高次脳機能障害が特集として取り上げられました。

- ・高次脳機能障害の理解と対応: 渡邊 修氏
- ・高次脳機能障害への精神科リハビリテーション: 東京都立中部総合精神保健福祉センター
広報援助課長 菅原 誠氏、
- ・子どもの高次脳機能障害への支援: はしもとクリニック 院長 橋本 圭司氏
- ・ある日突然の、脳損傷による、高次脳機能障害: TKK 理事長 細見 みゑ
- ・高次脳機能障害の都の取組: 東京都福祉保健局精神保健医療課 課長代理 内川 貴義氏

記事は次のページの「10月号(117号)」より参照ください。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/chusou/video/kenkodayori/2016.html>

●新宿区高次脳機能障害者支援セミナー 11月19日午後、新宿区四谷地域センター、

講演会「高次脳機能障害者の就労に向けて」、NPO法人 VIVID 受託事業

講演1: 「障害者の就労支援のしくみ」 朝日雅也氏(埼玉県立大学保健医療福祉学部教授)

講演2: 「自立に向けて、働くことを考える」 野々垣睦美氏(すてっぷなな統括所長)

==== 講演1では障害者就労の現状、各種支援施策、法制度などを包括的に聞きすることができました。講演2はいつもの野々垣トークで、就労/定着/離職についての見識、ご意見を分かり易く説明いただきました。50名以上の参加があり、会場はほぼ満員状態でした。

VIVIDさんは高次脳機能障害者の支援を目的に2007年に設立された専門職集団です。新宿区を中心に活動されていますが、当初は行政等から地域にこの障害の当事者がどれだけ存在するのか、支援の必要性があるのか疑問視されました。しかしながら月2回のミニデイサービスや相談支援を続ける中で障害者の存在が明らかになり、今ではミニデイサービスの希望者全てを受け入れきれない状況です。来年度からは事業所として新たなサービス、支援を始められるとのことで、益々のご活躍、発展を期待しております。 ===== TKK理事 矢野久喜

○港区主催「高次脳機能障害 研修会」(TKK 受託事業) 主催: 港区、TKK、みなと高次脳

第1回、2回とも 18:30~20:30 港区男女平等参画センター リーブラホール

第1回: 1月25日(水) 18:30~20:30

講演会: 高次脳機能障害者の一人暮らし支援

講師: 原 貴敏氏(慈恵医大病院リハ科/医師)

報告会: 事例から考える~一人暮らし支援について

座長: 原 貴敏氏

パネリスト: 当事者 A 氏

四日市佳代氏(自立訓練(機能訓練)事業支援員)

石川洋平氏(相談支援専門員)

第2回: 2月1日(水) 18:30~20:30

講演会: 高次脳機能障害者の就労支援

講師: 渡邊 修氏(慈恵医大第三病院リハ科/医師)

報告会: 事例から考える~就労支援について

座長: 渡邊 修氏

パネリスト: 小嶋史樹氏(NPO 法人みなと障がい者福祉事業団)

竹田純子氏(株式会社 沖ワークウエル)

詳細は http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=172

○<港区主催「高次脳機能障害 [相談会]」 毎月第3木曜日(1:30~4:30)、

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=161

○「高次脳機能障害 生活の中での体験と気づきから始まる主体性」

～回復過程を評価しながらエンパワメントを活用する～

主催:目黒区【目黒区高次脳機能障害者支援センターいきいき】、1月27日(金)18:00~20:00 目黒区総合庁舎

講演者:駒井由起子【特定非営利活動法人 いきいき福祉ネットワークセンター 理事長

◇申込み方法:FAX 03-6808-8576 担当:野々山・梅澤

○ふたりの医師と支援者が語る若年性認知症と高次脳機能障害 主催:世田谷ボランティア協会ケア相談センター 結
1月28日(土)18:30~20:30 世田谷区民会館(世田谷区世田谷4-21-27*東急世田谷線松陰神社前駅~徒歩5分)

長谷川幹氏 リハビリテーション医 三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長

高橋幸男氏 精神科医 エスポアール出雲クリニック院長

新藤優子氏 認知症ケア専門士 エスポアール出雲クリニック ディケアきらり

◇問合せ:ボランティア協会 和田敏子 TEL.03-5433-2830 FAX.03-6383-2156

詳細は <http://www.otagaisama.or.jp/news/20170107/4576.html>

○<第2回 区中央部高次脳機能障害合同研修会>

1月29日(日) 13:30~16:35 東京慈恵会医科大学 [大学1号館3階講堂]

[事例検討会] 13:30-14:05

1) 就労を見据えた外来リハビリテーションでの支援
作業療法士 兼目真里氏

(東京慈恵会医科大学附属病院 リハビリ科)

2) 高次脳機能障害(社会的行動障害)をもつ人の支
援を考える 相談支援専門員 石川洋平氏

(港区立障害保健福祉センター)

[講演] 15:45~16:35

「高次脳機能障害のある方の自動車運転につ
いて(仮)」

渡邊 修先生

(東京慈恵会医科大学附属第三病院)

◇申込:FAX:03-3431-1206 まで、 詳細は <http://www.jikei-reha.com/?p=4964>

○第8回国分寺市障害者雇用啓発事業 障害者用セミナー 主催:国分寺市障害者就労支援センター

1月29日(日)14:00~16:00 国分寺労政会館(国分寺市南町3-22-1 国分寺駅南口徒歩5分)

～諦めなかった就職~「働くを実現する!!」~初めての就職~株式会社 良品計画で働いて~

・当事者のお話

高次脳機能障害の方の就職するまでの取り組みや、就職後の楽しいこと、大変だったこと、

・企業の取り組み

(株)良品計画 無印良品 人事本部担当 成澤岐代子氏

会社での障害者雇用の考え方、障害を持つ方を採用にあたっての仕組み作りや実際に働いている方へのアプローチについて

◇申込み:国分寺市障害者就労支援センター 042-300-1500

○高次脳機能障害講演会 主催:社会福祉法人めぐはうす 地域生活支援センターMOTA

2月16日(木) 17:00～ 世田谷地域生活支援センターMOTA

対象…専門職・職員・関係者

講演内容…高次脳機能障害の当事者の体験(小澤希予志氏)

高次脳機能障害の家族会の紹介(小澤京子氏)

○<第3回 北多摩南部医療圏 高次脳機能障害地域支援研修会> 2月26日(日)13時～15時40分

東京慈恵会医科大学医学部看護学科1階大講堂(京王線国領駅から徒歩15分、調布駅からバス10分)

講演:「高次脳機能障害の神経心理学的評価」

東京慈恵会医科大学第三病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 山本一真氏

府中市内の事業所の報告 ～事例をとおして～ (14時～14時40分)

①集いの家 施設長 星野ちあき氏

②コットンハウス・フレンズ 施設長 土屋真理子氏、職業指導員 工藤綾茄氏

事例検討・報告

府中市立心身障害者福祉センター きずな、北原国際病院、地域生活支援センターあけぼの

-----∞
【4】行ってきました、聞いてきました！

* *

-----∞
メルマガ編集担当者が加盟団体、関係団体の活動を見学したり、高次脳機能障害関連の催しものに参加した際、その内容、印象をご報告します。第3回は東京都二次保健医療圏での専門的リハビリテーションの充実事業についてです。12月5日、都の高次脳機能障害の施策を担当されている福祉保健局 障害者施策推進部 精神保健医療課生活支援担当 内川課長代理、横田主事にお聞きした本事業の概要は次の通りです。 <報告者:TKK 理事 矢野久喜>

■高次脳機能障害の都の取り組み

東京都の高次脳機能障害の支援拠点は東京都心身障害者福祉センター(都心障センター)で、障がい者や家族からの相談に応じるとともに、人材育成研修や都民への広報・啓発等を行っています。そして支援体制を整備するため、区市町村や関係機関との支援ネットワーク構築の役割を担っています。直接的な支援として「社会生活評価プログラム」、「就労準備支援プログラム」を実施していて、利用された方も多いと思います。また地域での支援を充実するために、支援員の設置、医療機関や就労支援センター等との連携、相談支援、ピアカウンセリングの実施等の区市町村の活動について、経費を補助しています。

それに加え、広域での支援体制の充実を図るための施策が、二次保健医療圏での事業です。

■二次保健医療圏での専門的リハビリテーション充実事業の概要は次の通りです。

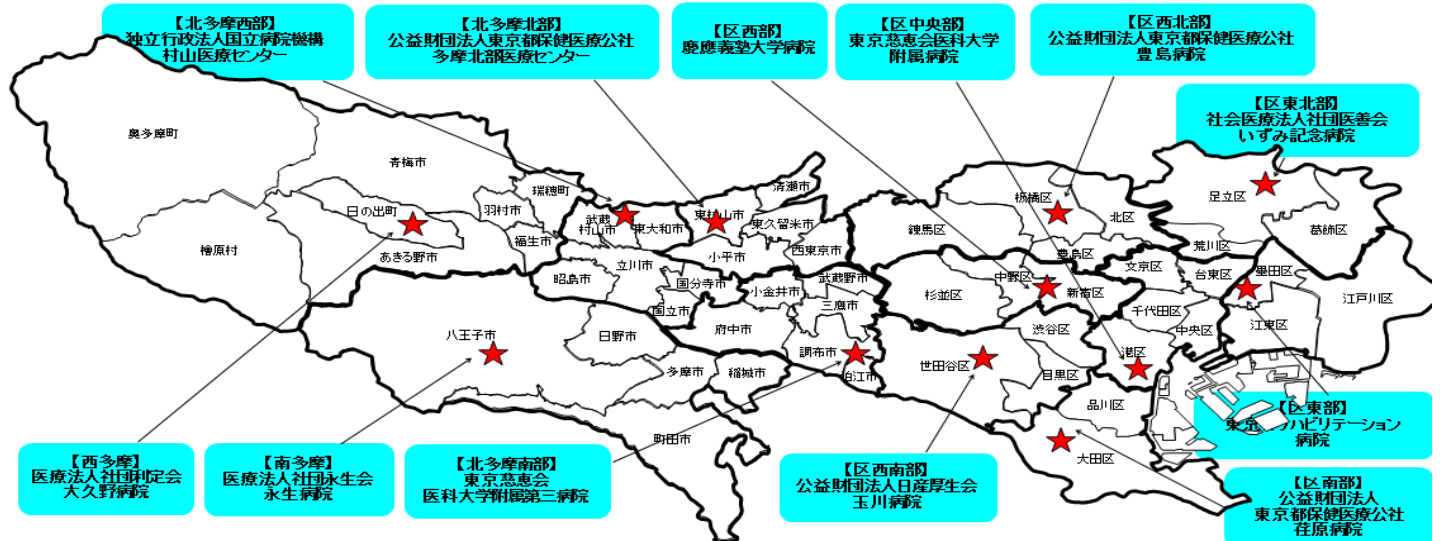
・この事業の目的、狙いは都の保健医療の領域で区市町村を束ねている12の「二次保健医療圏」での支援機能を充実するために実施されているのがこの事業です。因みに、一次保健医療圏は区市町村が単位です。

高次脳機能障害は緩やかな回復過程をたどるため、医療、福祉、介護等が継続して連携をとりながら長期間にわたり支援していく必要があります。そこで区市町村を超えた広域で医療機関との連携体制を構築し、また支援機関・団体等でのリハビリ技術の向上を図り地域の支援体制を充実することがこの事業の狙いです。

・事業の実施状況

平成22年度に区西南部、西多摩でスタートしその後順次拡張、平成27年度に島しょを除く12医療圏で体制が整備され、都全域で活動が開始されました。各医療圏の地域、実施医療機関、開始年度は次の図表の通りです。

高次脳機能障害者支援普及事業（専門的リハビリテーションの充実）実施状況



圏域	区市町村	実施医療機関	開始年度	圏域	区市町村	実施医療機関	開始年度
区西南部	目黒、世田谷、渋谷	玉川病院	22年度	区西北部	豊島・北・板橋・練馬	豊島病院	26年度
西多摩	青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・奥多摩・檜原	大久野病院		北多摩北部	小平・東村山・西東京・清瀬・東久留米	多摩北部医療センター	
区東部	墨田・江東・江戸川	東京都リハビリテーション病院	24年度	北多摩西部	立川・昭島・国分寺・国立・東大和・武蔵村山	村山医療センター	27年度
北多摩南部	武蔵野・三鷹・府中・調布・小金井・狛江	慈恵医大第三病院		区中央部	千代田・中央・港・文京・台東	慈恵医大病院（本院）	
区南部	品川・太田	荏原病院	25年度	区西部	新宿・中野・杉並	慶応大学病院	27年度
南多摩	八王子・町田・日野・多摩・稲城	永生病院		区東北部	荒川・足立・葛飾	いずみ病院	

・事業の具体的内容

各医療圏では域内連絡会を開催し事業内容を検討、実施しています。具体的には症例検討会、専門職・市民等への研修・講演会を各々に数回実施しています。テーマは各々の圏域の状況、ニーズを加味し、生活に車が必要な地域では運転問題、就労希望者が多い圏域では障がい者の復職、就職などが取り上げられています。またより多くの方に障害を知ってもらうためのリーフレットや地域の施設・機関を調査し、その結果をまとめた地域資源のガイドマップ等が作成され活用されています。

このような各々の二次医療圏での取り組みを相互に理解し支援活動を充実するために、平成25年度から実施医療機関が集まった意見交換会が開催されています。なお本事業の予算は28年度で総額3100万円です。

以上